



1月31日、第1回「ふれあい、村民綱引き大会」が小学校体育館で開かれ、村内11地区から7種目に51チーム約650人が参加しました。選手も役員も見る人もどんどん綱引きの魅力に引き込まれ、会場は盛り上がりましました。

— 関連記事4～5ページ掲載 —

人口の動き

— 1月末住民登録人口から —

世帯数	926世帯
人口	3,577人
転入	6人
転出	6人
出生	1人
死亡	7人

先月と比較して6人減
 昨年と同月と比較して2人減



未来博'88

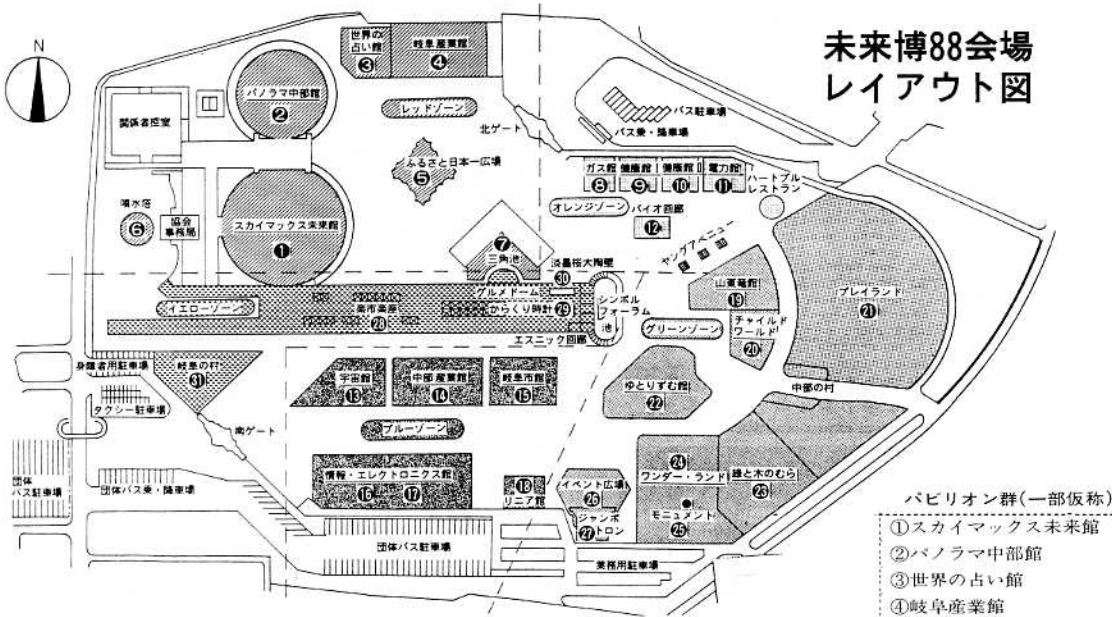
●テーマ 人がいる 人が語る 人がつくる

楽しくゆかいな夢空間

●7月8日～9月18日 ●岐阜市長良川畔

●午前9時30分から午後6時

未来博88会場 レイアウト図



バビリオン群(一部仮称)

- ①スカイマックス未来館
- ②パノラマ中部館
- ③世界のおい館
- ④岐阜産業館
- ⑤ふるさと日本一広場
- ⑥シンボル噴水塔
- ⑦三角池
- ⑧ガス館
- ⑨健康館 I
- ⑩健康館 II
- ⑪電力館
- ⑫バイオ回廊
- ⑬宇宙館
- ⑭中部産業館
- ⑮岐阜市館
- ⑯情報館
- ⑰エレクトロニクス館
- ⑱JR東海リニア館
- ⑲山東竜館
- ⑳チャイルド・ワールド
- ㉑プレイランド
- ㉒ゆとりずむ館
- ㉓緑と木のむら
- ㉔水と道のワンダー・ランド
- ㉕モニュメント
- ㉖「未来を拓く」
- ㉗イベント広場
- ㉘ジャンボ・トロン
- ㉙楽市楽座
- ㉚からくり時計
- ㉛淡墨桜の大陶壁
- ㉜岐阜の村

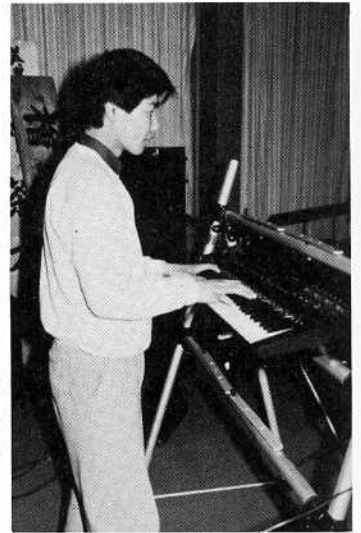
今年はずいぶん中部未来博の年。岐阜市長良川畔の会場では多くのバビリオンに、楽しいイベント、フェスティバルでいっぱい입니다。県内の市町村を紹介する「ふるさと日本一広場」では、それぞれ郷土色豊かな多彩な催しが計画されています。私たちの村は、シンセサイザーと太鼓、三味線などのジョイント曲「東白川讃歌」で郷土芸能と新しい音を溶け合わせ、楽しんでもらおうという試みで、一部で練習に取り組んでいます。また、この会場への前売入場券は、本村では四月から一斉に販売をはじめます。

MY・舞・未来

8月5日は東白川の日

東白川村のイベント開催日は八月五日で、七宗町、白川町と合同で「MY・舞・未来」のキヤッチフレーズのもとで多彩なイベントを繰り広げることになっています。

その中で、私たちの東白川村は「シンセサイザーと太鼓の愛」をキヤッチフレーズに村を代表する特産物である白川茶と東濃ヒノキをテーマとした檜茶太鼓と三味線、エレキバンド、合唱、笛などをシンセサイザーでジョイントしたオリジナル曲の作曲を、藤掛廣幸さん(千葉県市原市在住)に依頼していたところ、昨年の暮れに完成し楽譜が届きました。



「市町村の日」のイベント「東白川讃歌」のシンセサイザー奏者として選ばれ練習する安江太一くん（神戸中通）

シンセと太鼓ので愛 軽快な「東白川讃歌」

藤掛さん作曲の曲名は「東白川讃歌」と名づけられ、構成は▽第一部

同じ藤掛さん作曲の東白川村民の歌「みどりの里」をシンセサイザーと太鼓と合唱で力強く、軽快に歌いあげオープニングをかざる。

▽第二部
三味線に太鼓と笛などがからんで軽妙に繰り広げる「かけあい三味線」

▽第三部
檜茶太鼓の代表曲である清流白川を上る若鮎を表現した白川清流登り打ちにシンセサイザーとエレキバンドのジョイントによる「白川清流登り打ち」

▽第四部
ステージ一杯に、音と踊り

が一体となって、総出演でにぎやかに、はなやかにフィナーレの幕が降りる「東白川音頭」、と全体は四部作で構成されています。

出演は、シンセサイザー奏者一人、檜茶太鼓保存会十人、三味線クラブ十八人、音楽クラブ五人、かじか合唱団十五人、民謡クラブ十四人、木屋会九人、民謡教室十人、中学生太鼓二十人、踊り応援五十七人、司会者その他十一人で総勢百七十人の参加予定です。

この「東白川讃歌」の中心となるシンセサイザー奏者には、未来を担う若者が適任ではないかという発想から、神戸中通の安江太一くん（安江貞夫さんの長男・白川高校一年生）が選ば

れました。

安江くんは、中学二年生のころから音楽に興味を持ちはじめ、家でピアノを弾いたり、高校でバンドを組んで音楽好き仲間たちと楽しんでいますが、譜面が着いて早々に練習に取りかかっています。

また、村では新年早々から各関係団体と打合わせを行い、本格的な練習をはじめ、次第に輪を広げて檜茶太鼓保存会、三味線クラブ、合唱クラブ、青年たちのエレキバンド、民謡クラブなど村内の芸能団体を網羅して総勢百七十人を超える出演者で、未来博本番に、伝統の郷土芸能と未来の音シンセサイザーのふれあいを楽しんでいただきたいと張り切っています。



本村特産の「東濃ヒノキ」と「白川茶」をPRする檜茶太鼓保存会

「ふれあいの炎」炬火リレー

6区間を72人が運ぶ

県民の多くの人々に未来博88に参加していただくことにより盛り上げ、地域の活性化につなげるため「ふれあいの炎」炬火リレーが行われます。

これは、五月二十九日に大野郡丹生川村の東京大学天文台乗鞍コロナ観測所で太陽光線から採火し、平湯峠で点火式を行い県内全市町村をくまなく炬火とシンボル旗がリレーで運ばれ、その地域で特色ある催しを展開しながら七月八日の未来博開幕日に会場にゴールし、炬火台に点火するものです。

本村の予定は、六月十四日の夕方に大多尾峠で白川町から引き続き、東白川小学校で分火。夜は小学校体育館でイベント「炎」と東白川讃歌」を予定。

翌十五日の朝、越原運動場を出発した炬火は、県道白川加子母線を下り、午前中に五加沢はぞれ（白川町境）まで、六区間（一区間は十二人編成で約二・六kmを炬火、シンボル旗をささげた六チームが走る）を七十二人がリレーし、白川町に引継ぐことになっています。

「ふれあいの炎」炬火リレー及びイベント計画

▶ 6月14日	白川町から引継（大多尾峠）16：00 東白川小学校（分火） 東白川村役場（宿泊）17：00
イベント・「炎と東白川讃歌」 東白川小学校体育館 午後7：30～	
▶ 6月15日	東白川村役場 7：40 越原運動場（1区） 8：00 越原橋（2区） 8：15 上親田道上り口（3区） 8：30 東白川村役場（4区） 8：45 イベント「炎／出発（たびだち）」 9：15 不動滝（5区） 9：30 古田材木店前（6区） 9：45 大沢はぞれ（白川町へ引継ぎ） 10：00



綱を引く人も応援する人も一生懸命でした（小学校体育館で）

村民のふれあいと冬場の体力づくりを目的とする第一回「ふれあい」村民綱引き大会が一月三十一日、東白川小学校体育館で開かれ、十一地区から七種目に五十一チーム約六百五十人が参加し激戦が繰り広げられました。綱引きの普及には、夜間に体育館を開放し練習会を行いより強い地域パワーの結束と親睦を図られました。こうして、村中が一丸となって取り組む姿勢を今後の村づくりに生かしていきたいものです。

午前八時三十分、登録を済ませた五十一チームが地区ごとに十一に分かれ、村民の歌「みどりの里」の演奏の中を選手団、役員団、総勢六百五十人が軽快な足どりで入場。教育長の開会宣言により「第一回「ふれあい」村民綱引き大会」の幕が明けました。

が結集！生かしたい村づくり！

綱引き大会

大会長あいさつ、来賓あいさつ、審判長の競技説明に続き無差別級男子、栃山・黒淵チームの安江博さんと無差別級女子、大沢・下野・久須見チームの五十川恵子さんが選手宣誓。競技開始に先立ち、大会中のケガの予防などから体育指導委員十人の指導でストレッチ体操を組み入れた準備体操で体をほぐし、本番にのぞみました。午前九時十五分競技開始。Aコート無差別級男子、Bコート無差別級女子、Cコート五十五歳未満男子の対戦。各コート同時に競技開始。選手係が対戦チームのスタンバイを告げ、主審の「集合」の合図により入場。場内にはわかにザワメキが静まりいよいよ本番開始。規定のルールにより相互にあいさつを交わし、ロープを握り、もち上げ、綱引き姿勢の準備完了。審判も競技役員も緊張の瞬間である。

「レディー・ゴー」ヨイショ、ヨイショ……綱が鋼鉄のように硬い、八人の力が集結する。主審の腕が大きくまわされる。ピイッ、ピイッ。一瞬の空白のあと、ワアッという感音と無言で首を垂れる対象的な光景。こうした場面が五十二回、A、B、Cの三つのコートで予選リーグ三十五試合、決勝トーナメント十七試合が繰り広げられました。参加した選手も、見ていた観客も、運営にたずさわった役員も見たものすべてが感動を覚え一つ一つの試合がドラマの濃縮であったように感じられました。

冬季スポーツの祭典として今後定着……

村民のふれあいの場と体力づくりの機会として、この大会は冬季における村のスポーツの祭典として今後定着させていきたいと考えています。

また、大会そのものに加えて地区別の練習が「地域のふれあいつくり」の機会となったことも大きな意義があると思います。この大会が基となり、冬場の健康、体力づくりの手段として綱引きを積極的に取り入れ、冬こそ身も心も温まるスポーツに取り組んでほしいものです。いずれにしても、大会に参加した人は一つ以上の感動を持ち帰ることができたことでしよう。参加できなかった人は、こうした機会に勇気を出してとび込んでほしいものです。

結果は、予選リーグの勝ち本数と決勝トーナメント進出点、優勝、準優勝のタイトルで親田地区がどの部門でも優位を占め総合優勝。以下つぎのとおり。



◀ オトウチャンがんばって、応援にも熱が入ります。



▶ 総合優勝チームの雄姿



◀ 力つきてこんな光景も…



▶ 素晴らしい母ちゃんパワー



◀ 無差別級男女代表のみことな選手宣誓

地域が村中

第1回「ふれあい」村民

総合成績

優勝	準優勝	3位	3位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位
上・下親田	柏本・宮代	平上	大明神	中谷・加舎尾・西洞	大口・平下	曲坂・日向	中通・神付	陰地	大沢・下野久須見	栃山・黒淵
44点	19点	17点	17点	14点	13点	12点	11点	10点	8点	7点

種目別成績

()内はチーム名

区分	無差別級男子	無差別級女子	30歳未満男子	30歳未満女子	55歳未満男子	55歳未満女子	55歳以上男子
優勝	(親田男子無差別) 上・下親田	(神付チーム) 神付・中通	(ヤング陰地組) 陰地	(30歳未満親田) 上・下親田	(ホラ吹きチーム) 大明神	(中谷・加舎尾・西洞) 中谷・加舎尾・西洞	(親田金太郎) 上・下親田
準優勝	(ヤッターマン) 大明神	(親田女子無差別) 上・下親田	(大西チーム) 大口・平下	(中谷・加舎尾・西洞) 中谷・加舎尾・西洞	(こっちこい元気) 柏本・宮代	(親田女子55歳未満) 上・下親田	(平東チーム) 平上
3位	(曲坂・日向B) 曲坂・日向	(日向・曲坂チーム) 曲坂・日向	(平東チーム) 平上		(親田男子55歳未満) 上・下親田	(平東チーム) 平上	(大西えびす) 大口・平下
	(5時から男) 柏本・宮代	(エンゼルパワー) 柏本・宮代			(花の木チーム) 栃山・黒淵	(大沢・下野・久須見) 大沢・下野・久須見	

力強く「誓いのことば」を述べる新成人代表 今井 誠くん



今年四月二日から昭和四十三年四月一日までに生まれた人で、男三十二人、女三十五人、合わせて六十七人です。このうち式典には、新成人の八四％にあたる五十六人が出席しました。

記念式典は、午前十時三十分から村長をはじめ、議長、青年団長、婦人会、PTAなどの関係者と、新成人が集まり開催されました。国歌斉唱、村民の誓い、新成人紹介、新成人証書と記念品が贈られ、桂川村長から「村づくりへの積極的参加と、若い力と英知によって将来に夢をかけた、地域の推進力となつてほしい。また、心にふるさとの温かさをいつまでも失うことなく活躍されることを期待します。」と激励の言葉がありました。

続いて、安江教育委員長あいさつ、来賓祝辞などがあり、最後に新成人を代表して神土平の今井誠くんが力強く誓いのことばを述べ、一時間にわたる式典を終えました。

このあと同会場で記念撮影、そして記念会食に移りました。同級生たちは、この日のために都会から里帰りした友だちとも久しぶりに顔をあわせ、お互いに立派に成人した喜びをかみしめながら、なごやかなムードにつつまれ、どの顔にも成人としての自覚と新たな決意がみなぎっていました。

午後からは、記念行事として新成人たちが中学校時代お世話になった藤井助太郎校長先生を招いて「中学校時代の思い出について」と題して記念講演を聴き幕を閉じました。めでたく大人の仲間入りした新成人は、次のみなさんです。

【大口】今井秀和

20歳おめでとう

成人の門出を祝う

67人が大人の仲間入り

- 【平】今井克典、今井誠、桂川伊織、桂川俊雄、榎間治也、田口治由、服田茂久、古田泰之、村瀬紀文、安江勝司、安江利光、青山恵利子、木曾美和子、古田浩子、安江順子、安江まなみ、安江由紀、山中由希、若井佳子
- 【下親田】有田純也、田口宗博
- 【上親田】古田耕一、安江洋輔、額瀬雅子、早瀬美智子、古田香、安江久美
- 【中通】村雲一元、安江茂隆、田口千枝、早瀬紀代子、村雲まり子、開口純子(旧姓安江)、安江美香
- 【中谷】田口敦子
- 【加舎尾】今井英作
- 【西洞】田口寛久、安倍栄子
- 【曲坂】荻田靖、安江ゆき子、荻田かのえ
- 【日向】安江智子
- 【陰地】桂川克雄、松岡和彦、安江寛、沢木いずみ、安江弘巳
- 【黒淵】熊沢克之、板垣紀代子、熊沢康子、安江尚代
- 【大明神】田口浩由、田口泰宏、安江浩昭、桂川ゆり、安江佳代子、安江二小代
- 【栢本】今井秀和、栗本文良、伊藤みち代、安江佐智枝
- 【宮代】安江幸子
- 【久須見】増谷美里
- 【島根県】柳楽岳志

「ひがししらかわ」



誕生おめでとう
ございます

■戸籍の窓 一月〓敬称略



おくやみ
申しあげます

- 大坪 福市 75歳(中通)
 - 古田 國榮 87歳(宮代)
 - 今井 博 88歳(大口)
 - 島田 昭雄 53歳(大沢)
 - 高井 つね 85歳(黒淵)
 - 安江はつゑ 88歳(栢山)
 - 田口つるゑ 76歳(神付)
- 善意の寄付〓敬称略
- 【社会福祉指定寄付】
現金三万円〓早瀬新二(上親田)、同現金五万円〓安江市助(栢山)

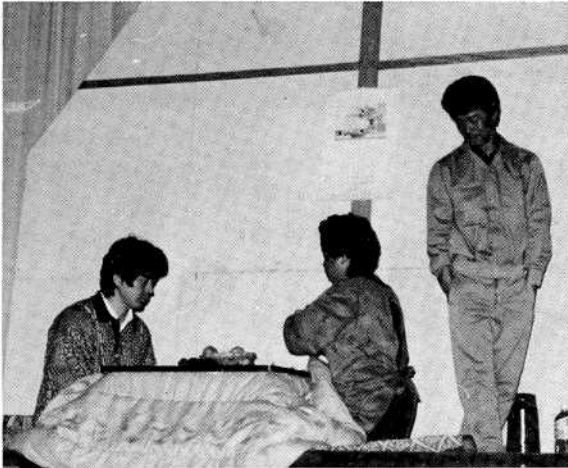
「可茂地域」の
ネーミングを募集します

可茂地域の産品を宣伝する
うえでの地域名称を次のとおり募集します。
昨年の十一月に「可茂地域

青年の考え創作劇で披露

第40回青年祭

青年の当面する課題を創作劇で披露する団員たち（五加分団の「親子」）



四十回目を迎えた伝統行事、東白川村青年団（安江修治団長、三十五人）主催の青年祭が、一月二十四日東白川中学校体育館で開かれ「青年維新」をスローガンに、神土、越原、五加の三分団がそれぞれ青年の考えを創作劇で披露しました。

五加分団は、現在村をあげて取り組んでいる「むらおこし事業」にスポットを当て、一青年の新しい事業への情熱と両親の協力を描いた「親子」

越原分団は、青年祭を終え慰労会から始まり、次期団長選びの中から若者に魅力のある青年

団のあり方を劇を通して訴えた「初春物語」

神土分団は、医者を目指す青年が田舎に帰り父の手伝いをしながら勉強し、夢がかない合格通知を手にするが、歳を取って小さく見えるようになった父を思い家業を選択した青年の姿を描いた「俺の蒼い春」

いずれも団員たちの手づくりの劇で、青年たちが社会に抱いている考えや、自分たちの村の将来をあらゆる角度から見つめ直した考えを劇を通して発表しました。会場には、団員たちが用意したこたつやストーブが置かれ、青年団OBや婦人会をはじめ子供からお年寄りまで約六十人が青年たちの熱演に見入っていました。

また、幕間を利用してミカンの早食い競争やクイズなどをし、昼休みにはもちをつき、おしるこを作って振るまうなど精一杯のもてなしで、一人でも多くの人たちに観てもらおうとする青年団の意気込みが感じられました。

最後に青年団が主体となって結成しているアマチュアバンド「A・B・E・Z」の演奏と歌でしめくくりました。審査の結果は次のとおりです。

▽最優秀賞 五加分団「親子」
▽演技賞 神間治也（神土分団）、安江久美子（五加分団）



青年祭にご協力

ありがとうございます

青年団長 安江修治

第四十回青年祭には、村内の皆様が温かいご支援をいただきありがとうございます。

今回の演劇は、三分団とも創作劇でいずれも私たち青年の身近な問題をとりあげました。今年「青年維新」をテーマに、若い人たちに魅力のある、新しい青年団づくりを目指してがんばってきました。

一か月あまりの練習期間で決して十分とはいえませんでした。が、一年間活動を共にしてきた団員同士のチームワークがあったからこそできたのだと思います。

これからも青年団活動を盛り上げ、地域社会に役立つ活動を繰り広げたいと思いますので、村内の皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。

「可茂地域」ネーミング応募票

名称	
説明 (上記名称を選んだ理由等)	
応募者氏名	(歳)男・女
住所 職場 又	

ふる里産品フェア」を開催し、地域の方々にも多くの産品を紹介しましたが、今後はこの地域以外の方々にも広くこれらの産品を知ってもらい活用してもらおうよう活動していきたいと考えています。

このため、全国の消費者の方に親しみやすく、覚えやすい、しかもイメージとして地域をとらえることができる可茂地域のネーミングを行い、この名称を使うことにより可茂地域のイメージを高めると共に、イメージ化された地域ブランドとしての産品を宣伝していきたいと思っておりますので、どしどし応募ください。

採用名称及び優秀名称には記念品を贈呈します。

▽締め切り 三月五日

▽提出先 産業課振興係または可茂県事務所産業労働課へ。



岐阜農林高校
農業土木科2年

安江晴貴くん

昨年、朝日新聞社が募集した論文「あすの岐阜―飛騨への提言」に下親田の安江純熙さんの長男、安江晴貴くん（県立岐阜農林高校・農業土木科二年）が応募し、その内容が高く評価され高校生の部で一席に入賞しました。安江くんは村の将来に夢を託し、村へ戻って技術者として働く決意を書いています。その論文を紹介しましょう。

一、働くことに喜びを持ち、豊かな村づくりに励みます。

一、美しい自然を愛し、うるおいのある村を育てます。

これは、私が生まれ育った東白川村民の誓いの一節です。東白川村は、加茂郡六町一村の中の一つとして存在し、東濃ヒノキや白川茶の特産地としてその名が知られています。

私が中学生のころ、地元出身の担任の先生が話してくれました。「このような自然に恵まれたええところはどこにもない！白川のお茶は全国一や！君たちも大人になったら東白川村の発展のために頑張ってくれ」

先生の家がお茶を作っていた関係もあつたと思いますが、この言葉は何となく胸にしみています。僕も東白川村の一人として将来は、土木技術者として村の発展のために頑張ってみよう……。そういう決意で私は岐阜農林高校の農業土木科に入学しました。

長い年月の間に、自然との調和で培われた東白川村は、何も

のにもかえがたいものだと思いますが、現状のままでの村の活性化は難しいと思います。私は東白川村の発展について大事なことを述べたいと思います。それは、地場産業の育成振興であり、それを主体にした活性化と二次的な産業の誘導を進め

の口調から今でも忘れることはありません。それは集中豪雨による急傾斜地の土砂崩れがバスを直撃し、そのまま増水した飛騨川に転落、多くの犠牲者を出した事故であつたことだ、と記憶しています。このように山岳道路の安全対

村づくりにかける私の夢

て、中部経済圏への連携を深めながら産業基盤を確立することが最も大切であると思います。そこで経済の流通を図る重要な役割を果たすのが道路であり、東白川村のような山岳地帯における道路は舗装することのみに主目的がおかれ、その安全計画と対策が不十分で遅れているのが現状です。

私が小学生のころ、父からよく聞いた話に飛騨川バス転落事故があります。その当時、私はまだ生まれていませんでしたが悲しい事故であつたことは、父

策の必要性は言うまでもなく積極的に実施しなければなりません。村道などにおいても危険度の高いところが数多く見受けられます。いくら村の発展に力を入れても人命を失うような危険な場所は、絶対に改善しなければなりません。

東白川村の場合、地形的にみて約半分以上が二〇度以上の傾斜地であり、それに適当な、のり面防護法として有効な工法はコンクリート枠工であると思えます。コンクリート枠工の特徴としては、のり面背後に含まれ

た水をコンクリート枠の中に敷き詰めた石と石の間から排水することにより、のり面の安定を図るといふことです。いわば、表面排水とのり面崩壊防止の両方の効果が高いということです。また、経済的な面を考えますと、コンクリートの枠の中に敷き詰める石が現場近くで入手できること、またコンクリートの量が枠の分だけ使用しますので少量ですむということが経済性の大きな点であると思えます。このようなコンクリート枠工を具体的に計画し、実施してゆく

ことが最も急務であると考えます。

第二には、山麓傾斜地の土地利用です。現在利用されている産物としては、茶園、桑畑などが主なものです。山麓開発として今後目を向けなければならないことに、肉牛の放牧があります。

現在本村では、三十戸前後の農家で約六百頭を飼育しています。最近の市場価格の低迷に加えて貿易の自由化の要請は、肉用牛肥育農家へ大きな影響を与えています。今後は良質の肉牛を生産することが課題となっ

てくるため、放牧が要求されてくると思えます。

また、牧草地として利用することにより降雨などの雨水による土壌浸食や、土砂流出に対しても保全防止といった面で役立つため、一石二鳥の効果があると思えます。造成方法としては本村の地形や将来の作付けなどを考慮いたしますと、多少経費は他の方法よりかかりますが、改良山成工を用いて平均一五度の緩斜面として機械化営農に適するような圃場を造成した方が土地利用の面からも有効だと思います。

以上述べたように、豊かな村づくりはいろいろな調和を考えたながら、東白川村の特性を生かした農業の振興と、村の活性化につながる二次的産業の導入を積極的に展開してゆくことが大切だと思います。

そして、私は東白川村の将来を考えると、なんとしてみようとするの発展のために自分の一生をかけ、夢が実現できるようにとことん頑張りたいという決意でおります。そのために、岐阜農林高校でしっかりと勉強し農業土木技術者として時代の進展に即応できる知識・技術を身につけ、豊かな村づくりのために貢献しよう全力投球でがんばりたいと思えます。

大丈夫ですか？ 火の用心！

春の全国火災予防運動

2月29日～3月13日



東消防署員
村の独居老人宅を訪問指導する

本年も春季全国火災予防運動が二月二十九日から三月十三日まで実施されます。
この運動は、火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図るとともに火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的として「消えたかなノ気になるあの火も一度」を統一標語に展開されます。

また、重点目標は次の五項目です。
一、高齢者、身体不自由者などを中心とした死傷防止対策の徹底
二、家庭及び地域における防火対策の推進
三、百貨店、旅館、飲食店など不特定多数の者が出入りする防火対象物に係る防火安全の確保
四、防災機器などの普及の推進
五、異常乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進

これらの目標を達成するために、県や市町村の消防機関では、▽広報紙、パンフレット、広報車などによる火災予防のPRの実施
▽特定防火対象物、社会福祉施設などにおける避難訓練の実施
▽婦人防火クラブや地域の事業所の合同による初期消火訓練の実施

といった各種訓練、催物などの行事を実施します。住民の皆さんも積極的に参加していただきたいと思ひます。

まぜる料理で ミニミニゲテシ

〔材料〕(みそ約四kg分)
大豆(乾燥) ……1kg
米こうじ(市販のもの) 1kg
塩 ……四五〇g

煮立てた大豆をつぶす

- ①大豆は水で洗い、虫くいや浮いた豆は取り除きます。
- ②大豆を大きな鍋に入れ、四〜五倍の水を加えて吸水させます。冬なら一昼夜、春から秋なら八〜十時間は必要です。
- ③吸水させたら鍋を火にかけ、煮立つまで強火、その後は火を弱めて、ようやく煮立つ程度の火加減で煮汁が少なくなったら、さし水をしながらか五〜六時間かけて煮ます。親指と小指ではさんで染につぶれるくらいまで柔らかく煮ます。
- ④米こうじを手でよくほぐし、塩四〇〇gと混ぜます。
- ⑤煮えた大豆をざるにあげ、煮汁を切ります。汁はとっておきます。大豆は温かいうちに手早くつぶします。
- ⑥この大豆と、④の米こうじを混ぜ合わせます。このとき、煮

みそを作ろう

「寒仕こみ」といつて、みそを仕込むには寒い時期が一番。仕込んでから、三〜四カ月で食べごろになります。真正正銘の「手前みそ」を楽しんでみましょう。

- ⑦両手で握れるくらいの大さきにまとめて、かめの底に打ちつけるように入れ、手でたいらにならしてすきまのないよう、しっかりと詰めます。
- ⑧全部詰め終わったら、表面をたいらにならし、残りの塩五〇gを全体にふりかけます。
- ⑨熱湯で洗ってかたくしぼったふきんで、カビがはえないようにかめの内側の汚れをきれいにふきとります。
- ⑩表面にラップ材をびったりかぶせ、押しぶたをします。
- ⑪材料と同じ重さ(約四kg)の重しをします。
- ⑫かめを清潔な紙でおおい、ひもでしっかりとしばり、そのまま一か月おきます。
- ⑬一か月ごとにかき混ぜる
- ⑭一か月たつと水が上がつてきますので、木べらで全体をかき混ぜ、ならしてラップ材で押しぶたをし、今までの半分(約二kg)の重しをします。一か月ごとにかき混ぜます。
- ⑮一か月目くらいにまわりに泡が出て、膨張してフカフカすることがあります。気温が高いために異常に発酵してガスがたまつたためですから、しゃもじで底からよく混ぜてガスを追い出します。そして強めの重しをすると回復します。
- ⑯カビのようなものが見られたら、押しぶたは熱湯で洗い、ラップ材は新しいものに替え、かめの内側はきれいにふきまます。
- ⑰三〜四か月で食べられるようになります。

みそを取り出した後は、みその表面をならして、ていねいに後始末をしておく二年はもちます。

昭和62年分所得申告相談日程表

月 日	対 象 集 落	備 考
2月16日(火)	宮代・大沢	◎ 相談会場 村民センター 2階会議室
17日(水)	柏本・前日済まなかった人	
18日(木)	曲坂・黒淵	
19日(金)	日向	
20日(土)	大口(午前中)	
22日(月)	陰地	
23日(火)	大明神	
24日(水)	栃山・越原の済んでいない人	
25日(木)	西洞	
26日(金)	中谷・加舎尾	
27日(土)	下野(午前中)	◎ 相談時間 午前9時から 午後4時30分
29日(月)	下親田・中通(下)	
3月1日(火)	この日は、税務署から通知のあった人のみを対象とします。(午前10時～午後3時30分)	
2日(水)	上親田	
3日(木)	神付・中通(上)	
4日(金)	平1班～2班	
5日(土)	久須見	
7日(月)	平3班～4班	
8日(火)	平5班～6班	
9日(水)	平7班～8班	
10日(木)	平9班～10班	◎ 持参品 筆記用具、印鑑 関係書類 ・生命、建物などの 保険料の支払証明 ・水稲被害証明 ・医療費領収書 ・森林施業計画証明 ・源泉徴収票など
11日(金)	平11班～12班	
12日(土)	前日までに済んでいない人(両日は込み合いますので、ご承知おきください。)	
14日(月)	申告・納付期限	
15日(火)	(この日までに申告納付されない場合は加算税(金)などがかかります。)	

昭和六十二年分の所得にかか
る申告の時期が迫っています。
二月十六日から三月十五日まで
が申告期間です。
申告用紙などの必要書類は、

納期限を過ぎると延滞税がかか
ったり、期限内に申告しなかつ
た場合には無申告加算税がかか
ります。所得税については、納税も三
月十五日までとなっています。

また、相談会場が大変混雑し
待ち時間が長くなったりします
ので、できる限り日程にそつて
ご相談ください。
詳しくは、役場税務係へおた
ずねください。

62年分所得の申告は
2月16日から3月15日

お知らせ



組長さんを通じて配布していま
すが、申告に必要な証明書、領
収書などは早めに整えていただ
き、正しく円滑な申告ができる
ようご協力ください。

また、相談会場が大変混雑し
待ち時間が長くなったりします
ので、できる限り日程にそつて
ご相談ください。
詳しくは、役場税務係へおた
ずねください。

つたりしますので、必ず期限内
に正しい申告と納税を済ませて
ください。
申告相談も次のとおり二月十
六日から行います。配布しまし
た申告用紙などの書類の中に相
談日程、申告上の留意事項など
を記載したものがありますので
お確かめのうえお出かけくださ
い。

岐阜県の最低賃金一覧

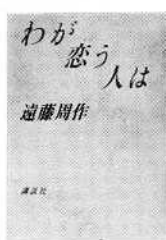
最低賃金	1 日	時給者 (1時間)	適 用 範 囲
岐 阜 県	3,706 ^円	464 ^円	全産業 (下記産業別最低賃金から適用を除外された者にも適用)
食 料 品	3,805	476	食料品、飲料・飼料製造業 (野菜缶詰等製造業は、岐阜県最低賃金)
織 維 産 業	3,815	477	繊維産業 (その他の衣服等製造業は、岐阜県最低賃金)
木材・木製品 家具・装備品	4,013	502	木材・木製品・家具・装備品製造業
出版・印刷 パルプ・紙	3,878	485	出版・印刷・同関連産業 パルプ・紙・紙加工品製造業
窯業・土石	3,881	486	窯業・土石製品製造業 (簡単な転写等は、岐阜県最低賃金)
機械・金属、 自動車整備	4,170	522	下記以外の業種、業務
	3,953	495	電気機械器具製造業 (洋食器・刃物・手道具・金物類製造業のうち、 特定の軽易な業務は、岐阜県最低賃金)
卸 売 ・ 小 売	4,014	502	卸売業
	3,799	475	小売業(飲食店は岐阜県最低賃金)

最低賃金が改正されました

岐阜労働基準局では、岐阜県
内の最低賃金を次のとおり改正
しました。
使用者の方は、原則としてこ
の最低賃金より低い賃金では労
働者を使用することができませ
んの十分注意してください。
この最低賃金、別表のとおり
りて岐阜県最低賃金については
昭和六十二年十月四日から、食
い。
料品製造業など産業別最低賃金
については昭和六十三年一月四
日から実施されました。
詳しいことについてはの問い
合わせは、岐阜労働基準局賃金
課 ☎〇五八二一四五一八一〇
一(内線三二番)または、関労
働基準監督署 ☎〇五七五二一
二一三二五一へおたずねくださ
い。

清掃・片付けの業務に主として従事する者
雇入れ後三月未満の者であつて技能習得中のもの
一八歳未満又は六五歳以上の者
は岐阜県最低賃金

今月の図書



わが恋う人は

遠藤 周作著

あの人にいたい……。妻ある人への愛、運命の愛、女難に託された哀しみと呪い。

初秋の軽井沢に始まる、遠藤周作のサスペンス長編小説。現代娘の美子が織りなす人生ドラマは、読者の心にやさしく面白く魅力的な文章で書きおろされた一冊です。

愛、ふたたび

小林 完吾著

ダウン症という障害を持って生まれ、そして105日という短い人生をとじた我が子に教えられた本当の優しさと幸せ――。

夫にも親にも打ち明けることのできなかった心の内を一気に吐き出すお母さんたちの声や手紙を通して、出会いの小さな輪が広がり、短い生命でしかなかったけれど、母であることの実感をしみじみ味わい、これからも、同じ悩みを持つ人々の力になることができるならとつづられた、生きる勇氣と知恵を教えてくれる感動の手記です。

ふるさとの花

26

ネコヤナギ (猫柳)



ネコヤナギは、日本全土に分布し、東白川村にも白川の川べりやその支流の谷川などのどこにでも見られるヤナギ科ヤナギ属の落葉低木です。

二月ごろ葉の出る前に銀ねずみ色の絹毛の花穂をつけ、その艶のある密生した毛が猫を思わせるのでこの名がありますが、早春の冷たい川面に、ほのかな温かみを感じさせられます。

とさをりの水の
ささやき猫柳 汀女

猫柳薪の上

上に折られあり 虚子
観賞用として庭園にも植えられ、切り花としても用いられます。

全国的には葉を茶の代用とする習慣もありました。

叢生し、大きなものでは樹高が二、五メートルくらいになります。花芽は一年生枝の中央につき、葉芽はその上部と下部につきます。雌株と雄株があつて

雌花は白っぽく、雄花は黄色です。さし木で容易に殖え、剪定

にも耐え、萌芽力が強いので、生け垣に植えられることもあります。
別名をカワヤナギ、エノコロヤナギといいます。エノコロヤナギは花穂を小犬のしっぽになぞらえて付けたものです。

ネコヤナギの仲間には、長葉川柳、枝垂柳、行季柳、立柳など種類が多く、全世界には三〇〇種くらいあるといわれています。また自然に多くの雑種を生じるので分類が非常にむずかしいとされているようです。

ヤナギは、わが国の民間伝承上さまざまにかかわりのある植物で、ことわざや、いいならわしにもとり入れられており、正月の正式食事、七草、小正月などに柳箸を使う地方もあります。



水辺のヤナギの古木には必ずといっていいほど、いい伝えがあり、柳井戸とか柳清水とかの伝説も数多く聞きます。
シタレヤナギの根元の幽霊の話も、民間信仰との結び付きの一つの変形でしょう。

今月の料理



大豆入りシチュー

【材料】六人分

大豆カップ一、牛乳カップ一、タマネギ小一、ジャガイモ小一、ニンジン一、牛薄切り肉二百グラム、パセリ少々、だし汁、油、しょうゆ、コショウ

【作り方】

- ①大豆は一晩水につけ、水けを切ってだし汁カップ二杯を加え、ミキサーにかける。
- ②タマネギ、ジャガイモ、ニンジンも薄切り、牛肉は一口大に切り、パセリはみじん切りにする。
- ③厚手鍋に油大さじ二杯を熱し②の牛肉、タマネギ、ジャガイモ、ニンジンの順にいため①を加える。
- ④煮たったら牛乳を加え、しょうゆ、コショウ各少々で調味し、ひと煮たちしたら器に盛ってパセリをふる。

なかよし広場に置かれたはく製を観察する
児童たち＝東白川小で

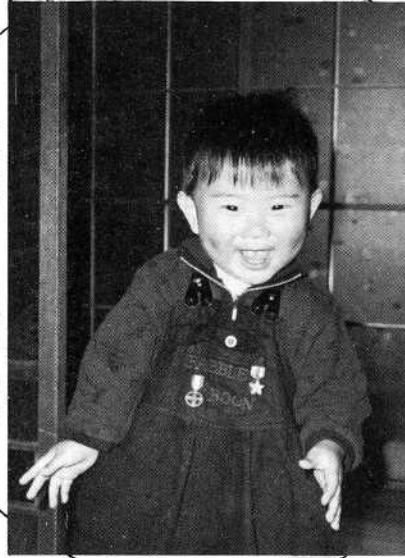


カメラの目

ハクビシながはく製に
東白川小学校

昨年の12月24日朝、南北橋付近の県道で車にひかれて死んでいるハクビシン（白鼻芯＝ジャコウネコ科）をスクールバスで通りかかった鳴倉正允さんが発見し、損傷が少なかったため小学校へ持ち帰り、はく製にして学校で役立てることにになりました。

体長約50cm、尾長約40cm、鼻すじに白い白線があり毛は茶色、尾は猫のように長いのが特徴です。なじみの薄い動物の名前ですが、一昨年五加の柏本で農作物を荒らして捕獲されたのはじめ、佐見地内の県道でも車にひかれて新聞に載ったことがあり、数多く生息しているようです。

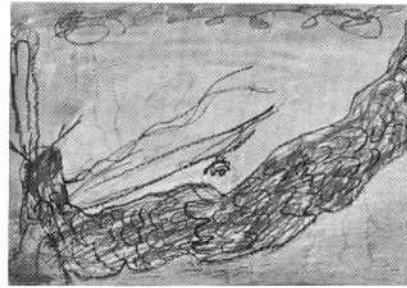


安江崇宏くん（一歳↓下親田）
義文さん・由美子さん長男

すくすく育て

たつのこたろう
いまいけんた（五歳↓大沢）

五加保育園



子供の作品



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日まで藤伊神土重雄宛に出してください。

- 明治よりの御堂建替へこの村に只一字なる薬師堂ここに白銀の落葉松落葉しんしんと凍てたる風の冷たく沁みる
伊藤 重雄
- 雪山に猪を追ふハンターの合図の笛の遠く響けり
安江 竜玉
- 初詣で太鼓の響きとうとうと宮居の森に鳴りて籠らふ
早瀬 勇造
- 体だけは丈夫なりしと言い来しも年古る老化は防ぐ術なし
安江 澄
- 幼子と交りて遊ぶ左義長の爆竹ひびき餅の香もする
安江 節子
- 八十七歳の優しき祖父は他界して永久の眠りは雪降る中に
早瀬 久子
- 春待たで雛菊の花小さく咲く庭隅に射す日光あまねく
今井 かな
- 標識の三鷹左折の文字くぐるそを東京になつかしく見る
小池 弘子
- 孫達に興味なきかと思ひしに親子の興する百人一首
安江すみよ
- 成人式にむかふ晴着の乙女らに園児の頃の面影残る
伊藤 美枝
- 紅葉する苗木城趾を訪ねぬ四三二米の岩山の城
田口 一枝
- 古稀となるこんな歳かと思ひつつ最早や今年も暮れて了ひぬ
今井 弘恵
- 初詣で老に希ひはなけれども孫の受検をひたすら祈る
三戸 きり
- 若きらは遊びに出てて夫は寝ぬひとり静かに書を読む元日
安江 幸
- 雪もなく子らも帰れば静まりて仕事始めの地下足袋を履く
安江 香
- 農政は既に浮上す百姓は土と自力を信するのみぞ
山川 洸
- 曲り角曲り切れずに行き詰り何うにかなるさと地下足袋をはく
全
- よたよたと寒紅梅の鉢持ちてぎっくり腰病む妻の部屋訪ふ
田口 良三